



熊本市 感染症発生動向調査 速報



★手足口病が3週連続警報レベルを超えています!!★

・予防法としては手洗いが基本です。特に感染者は排便後の手洗いが重要です。感染していることのおむつを取り替えたり、鼻水をとったりした後は、しっかり手を洗いましょう。



トピックス 感染性胃腸炎（ウイルス性胃腸炎）

ウイルス性胃腸炎は、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどのウイルスの感染で起こる胃腸炎です。吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、発熱などが起こります。ノロウイルスによる胃腸炎では、小児では嘔吐、成人では下痢が多い傾向にあります。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢（白色便）、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。

・感染経路…病原体が付着した手で口に触れることによる感染、吐物や便を介しての感染、または汚染された食品を食べることによる感染があります。

・流行期……ノロウイルスによる胃腸炎は11月～3月、ロタウイルスは2～3月に多い傾向があり、アデノウイルスは年間を通してみられます。

◆かかったらどうすればいいの？

・特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法がおこなわれます。
・乳幼児や高齢者では、下痢などによる脱水症状をおこすことがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。特に高齢者では、吐物が気管に入り誤嚥性肺炎をおこすことがあるため、様子の変化に注意しましょう。

・嘔吐の症状がおさまったら、少しずつ水分を補給し、回復してきたら消化の良い食事をとり、安静に努めましょう。

◆予防法は？

・帰宅時や食事の前、トイレの後に、流水と石けんでよく手を洗いましょう。

・二次感染を防ぐため、患者の便や吐物の処理は、直接触れないよう使い捨て手袋やマスクを着用し、汚染された衣類や床などは、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯、アルコール（ノロウイルスには無効）等でしっかり消毒しましょう。

細菌性胃腸炎は17週18週合併号、ロタウイルスは14週のバックナンバーをご覧ください。



「ホーム
ページ
熊本市
感染症
情報」も
あわせ
てご
覧く
ださ
い。

流水と石鹸による
2回手洗いをしな。



期 間		2019年 22週		2019年 23週	
		5/27～6/2		6/3～6/9（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		3	0.12	0	0.00
RSウイルス感染症		1	0.06	0	0.00
咽頭結膜熱（プール熱）		4	0.25	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		34	2.13	46	2.88
感染性胃腸炎		78	4.88	111	6.94
水痘（みずぼうそう）		6	0.38	5	0.31
手足口病		80	5.00	109	6.81
伝染性紅斑（りんご病）		3	0.19	6	0.38
突発性発しん		17	1.06	8	0.50
ヘルパンギーナ		23	1.44	24	1.50
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		1	0.06	2	0.13
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目）		13	2.60	13	2.60
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		2	0.40	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	1	0.20
クラミジア肺炎（オウム病を除く）		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		7	1.40	3	0.60